

## 自転車屋における「虫」

高田 兼太<sup>1)</sup>

多くの虫屋（≡昆虫愛好家）は、趣味の虫捕りという自然度の高いフィールドへ赴くことを好み、街中へ向かって突き進む虫屋はきっと少ないのではだろうか？しかし、文化昆虫学の観点を持てば、話が変わってくる。文化昆虫学とは、人々に対する昆虫の影響や、昆虫に対する人々の認識について探求する、比較的新しい学問である（Hogue, 1987;高田, 2014, 2015）。ただし、文化昆虫学においては、昆虫以外にもクモやカニが対象になることがあるので（例えば, Coelho, 2011）、ここでいう「昆虫」とは、ある意味で「虫」である。

虫は、文化のいろんな側面に表象しているのだから、人々の日常生活の中でもちょっとしたきっかけや注意で「虫」を発見できるのである。だから、街中に行っても、少し趣の違った「虫捕り」が楽しめるのである。虚をつかれることも度々である。中には、盲点ながらも確かにそうだとするものも存在する。ただし、それは実物の虫ではなく、人が自然に手を加えることによって形成された物心両面の成果としての「虫」である。

そういった「虫」が、どのように人々の日常生活に表象するのかを考察することで、人々に対する昆虫の影響や、昆虫に対する人々の認識をうかがい知ることができるだろう。

2018年7月16日海の日。

この日は祝日にして、休日だった。

私は、疲れがたまっていたせいか、昼の14時ごろまで寝ていた。起きて居間に行くと、父親が「家のガレージにとめていた、(私の)自転車がパンクしていたぞ」と言った。疲れていたが、何かとよく使う乗り物で、愛車が乗れない状態で放置というのは嫌で、ついでに外出してアイスコーヒーなどでも飲もうかとも思い、自転車屋へ行くことにした。自転車を確認すると、前輪の空気が完全に抜けていた。確かに、パンクしているようだった。

そこで、近所のいつも行く自転車屋に電話し、開店していることを確認した上で、自転車屋に自転車を押し持って行った。自転車屋は親子2代で経営しているち

いさな自転車屋だ。父親の方は、すでにご高齢で、おそらく70代～80代といったところだろう。息子の方はまだ働き盛り（50代）だろうか？

店に着くと、パンク修理担当の父親の方の店員にパンクの点検をしてもらった。修理中は、息子の店員に暑いからクーラーの効いた店内でお待ちくださいと言われたので、言われたとおり、店に入り椅子に座って、修理の様子を見ていた。

ほぼ自転車のタイヤ全体を点検したという段階で、父親の店員が、突然「虫や！虫！」と言いだした。

その瞬間、心の中で網を振った！

「虫」という言葉に反応したからである。

で、店員が言った「虫」とはなんだったのか？

捕まえたのは、そう「虫ゴム」であった（図1）。タイヤから空気が抜けていた原因は「虫ゴム」の劣化だったのだ。

こんな、ありふれた日常生活の世界にも、「虫」は「適応放散」しているのである。そして、単に「虫」と言っても、昆虫愛好家と自転車屋とは、意味が違うのである（昆虫愛好家で自転車関連の仕事をしている人がいたら、どう思うのかは謎であるが）。

しかし、ここでいう「虫ゴム」の「虫」とはどういう意味であろうか？ goo 国語辞典を見る限りでは、そ



図1 虫ゴム。

<sup>1)</sup> Kenta TAKADA 大阪市西淀川区

の中に該当しそうな意味はないように思われるが、「虫ケラ」などに込められた意味のように、「些細なもの」「小さなもの」の意味で、虫という言葉があてられているように思われる。そもそも、虫ゴムとは、小さなゴムの管で自転車の部品としても細かなものである。おそらく、そういうことだろう。つまり、虫ゴムという言葉の中の虫は、人々がもつ昆虫に対するイメージ、特にここでは Kellert (1993) による昆虫に対する人々の価値観の分類の中では、昆虫の象徴的価値に基づいて使われたものだろう。

また、この虫ゴムに込められた虫という言葉の意味を考えると、虫の存在には気づいていても、虫に対する人々の認識は、その詳細にまで向けられていないということを決み取って作られた語例ではないだろうか？

#### 引用文献

- Coelho, J. R., 2011. Noninsect Arthropods in Popular Music. *Insects* 2:253-263
- Hogue, C. L., 1987. Cultural entomology. *Annual Review of Entomology* 32:181-199.
- Kellert, S. R., 1993. Values and perceptions of invertebrates. *Conservation Biology* 7(4): 845-855.
- 高田兼太, 2014. はじめての文化昆虫学 - みんなで文化昆虫学の研究をしよう! . *きべりはむし*, 36 (2): 26-27.
- 高田兼太, 2015. はじめての文化昆虫学 - はじめての文化昆虫学 - 一般昆虫学と文化昆虫学の視座の違い: ある昆虫をモチーフとした絵画イメージを題材に. *きべりはむし*, 37 (2): 62-64.